

ダブル・メジャーの時代

チャールズ・アイブスに学ぶ保険ビジネスと音楽 レクチャー & コンサート

OLIS-プルデンシャル・ジブラルタ生命保険寄附講座

講演ならびに演奏スケジュール

(敬称略)

- 趣旨説明 山内恒人 (サムスン生命保険)
 - チャールズ・アイブス作曲 ヴァイオリンソナタ 第4番
 - 『現代作曲家としてのチャールズ・アイブス』
片山杜秀 (慶應義塾大学 法学部教授)
 - +++++ ++++++ 休憩 ++++++ ++++++
 - 『保険ビジネスマンとしてのチャールズ・アイブス』
米山高生 (一橋大学 商学部教授)
 - チャールズ・アイブス作曲 ピアノ三重奏
 - 閉会の辞 仲田均 (慶應義塾大学 理工学部教授)
- 【なお講演のタイトルは変更される可能性があります】

〔演奏者〕

ヴァイオリン 甲斐史子
チェロ 松本卓以
ピアノ 大須賀かおり



日時: 2015年1月17日(土曜日) 13時40分開演(13時開場)

場所: 藤原洋記念ホールー慶應義塾大学日吉キャンパス協生館内

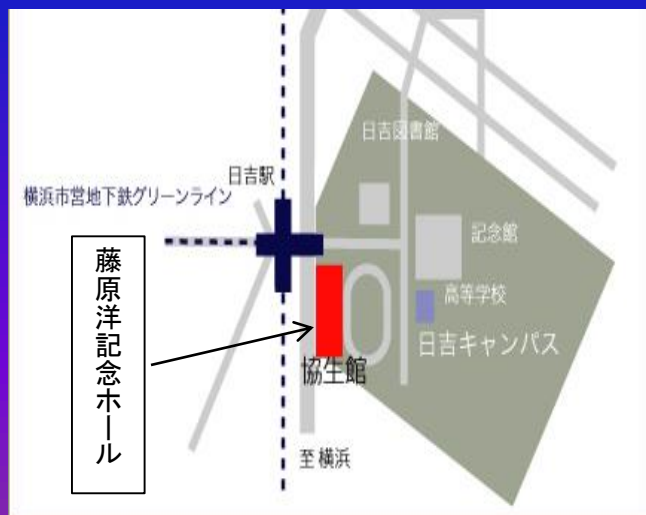
参加費用: レクチャー&コンサート 無料

参加希望の方は <http://www.olis.or.jp/hfea/program/> から登録をお願いします

【ご注意】講演中は中途入場可能ですが演奏中はホールロビーでお待ちください

チャールズ・E・アイブス

Charles Edward Ives (1874年 - 1954年)
米国コネチカット州ダンブリー出身の保険ビジネスマンであり、米国を代表する作曲家の一人。
全米最大級の保険代理店であったアイブス&マイリック社の共同社長であると同時に、生涯に4曲以上の交響曲、多数の管弦楽曲、ピアノソナタや4曲のヴァイオリンソナタなど多くの室内楽、多数の歌曲を作曲する。交響曲第2番は作曲から約半世紀後にレナード・バーンスタインによって初演され、また第3交響曲によりピューリッツァー賞を受賞する。
このように、2つの本格的な本業を持つアイブスの人生を題材にして就職と個人の本意の両立について考えるきっかけを提供したい。



<http://www.kcc.keio.ac.jp/>

西暦	年齢	アイブス年表	同時代の出来事
1874	0	10月20日 C.E. Ives 生誕 コネチカット州 ダンブリー	ホルストとシェーンベルグも同年生誕
1897	23	第1交響曲 完成	1896 ブルックナー死去(9番未完)
1898	24	Yale大学 卒業 Mutual Life Insurance Co. で働き始める	G.ガーシュウィン生誕
1899	25	Raymond & Co. に移る ここでJ.S. Myrickと出会う	
1904	30	Trio (violin, cello, pf) ただし完成は1911	1905 日露戦争 特殊相対性理論
1907	33	Ives & Co. 設立	1906 アームストロング調査
1908	34	Harmony Twichell と結婚	ラヴェル スペイン狂詩曲
1909	35	Ives & Myrick 設立(Mutual Lifeの総代理店)	ラフマニノフ協3番 マーラー9番
1910	36	第4交響曲 1910-1916	1912 明治天皇崩御
1914	40	ヴァイオリンソナタ第4番 1914-1915	1913 ストラヴィンスキー 春の祭典
1922	48	Broadway を Ives & Myrick bulletins に掲載 114歌曲集	ソビエト連邦成立
1930	56	Ives & Myrick を引退(前年にはIves & Myrickは49万ドルの新契約を達成)	1929大恐慌
1942	68	シゲティー(vn) フォルダシュ(pf)でヴァイオリンソナタ4番をカーネギーホール	バルトーク 管弦楽のための協奏曲
1946	72	ルー・ハリソン指揮により第3交響曲 カーネギーホール	1945 第二次世界大戦終戦
1947	73	第3交響曲によりピューリッツァー賞受賞	1948 極東軍事裁判結審
1951	77	バーンスタイン指揮により第2交響曲 カーネギーホール	1949 メシアン トゥランガリラ交響曲
1954	80	5月19日 NYで死去 その前月 A. ドラティによって休日交響曲演奏	黛敏郎 饗宴 伊福部昭 ゴジラ

甲斐史子(ヴァイオリン)

桐朋学園音楽大学卒業、同大学研究科修了。現代音楽演奏コンクール(競楽V)第1位入賞(Pf大須賀かおりとのデュオROSCOとして)、第12回朝日現代音楽賞受賞、2003年度青山バロックザール賞受賞、ドイツ・ダルムシュタットにて、クライニヒシュタイナー賞受賞、アンサンブル・ノマドメンバーとして、第2回佐治敬三賞受賞。桐朋学園オーケストラ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、日本フィルハーモニー管弦楽団等と共演。オランダ「ガウデアムス」、ベネズエラ・フランス「フェスティバル・アテンポ」、イギリス「ハダース・フィールド」メキシコ「グアナファト音楽祭」等、国内外の音楽祭に出演。数々の初演、録音を行っている。2008年一柳慧率いるアンサンブル・オリジンメンバーとして、カーネギーホールにて演奏。北京中央音学院、国家大劇場、上海音楽院など中国においても日中現代作品を中心にリサイタル公演、レクチャーを重ねている。ジパングレーベルより2枚のCDをリリース。 神奈川県立弥栄高等学校、東京芸術大学非常勤講師

松本卓以(チェロ)

1973年東京生まれ。東京芸術大学卒業、同大学院修了。在学中に福島賞受賞。藝大定期においてサン＝サーンスのチェロ協奏曲を協演。ソロ、室内楽、オーケストラ奏者として幅広いレパートリーに取り組む一方、特に現代音楽の分野では作曲家との共同作業に力を入れており、これまでに行った初演は150曲を超えている。またバンドネオン奏者小松亮太氏とのタンゴ演奏では、これまでに10枚以上のアルバムに参加した他、特に2005年の南米ツアー、昨年6月にオペラシティで行われた、ピアソラの「ブエノスアイレスのマリア」は好評を博した。ガウデアムス国際現代音楽祭(オランダ)他、国内外の音楽祭に多数出演。Ensemble Contemporary α、アンサンブル東風、JSCMユース室内オーケストラ、GEN室内管弦楽団、小松亮太&オルケスタティピカ、エレメンツァルテットのメンバー。アンサンブル・ノマドレギュラーゲスト。東京芸術大学管弦楽研究部講師。

大須賀かおり(ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒、同大学アンサンブルディプロマコース修了。第9回日本室内楽コンクール第2位。2001年、デュオ“ROSCO”(ヴァイオリン:甲斐史子)を結成、第5回現代音楽演奏コンクール競楽V優勝、第12回朝日現代音楽賞受賞、2003年度青山バロックザール賞受賞。2010年、現代音楽アンサンブル“mmm...”を結成、東日本大震災義援音楽配信プロジェクト・ヒバリを通して世界から100人の現代音楽作品を配信。2012年、“KOHAKU”を結成、知られざる歌や子供のための歌を紹介。同年、“リレーション'70”を結成、室内楽'70の全委嘱作品を再演。2013年よりコンサートシリーズROSCO.FN's Atelierを開始。東京・名古屋でのソロリサイタルをはじめ国内外の音楽祭等に出演し、これまでの初演作品は250曲を超える。ジパングレーベルより2枚のCD、楽譜集をリリース。日仏現代音楽協会会員。日仏現代音楽協会会員。桐朋学園芸術短期大学、東京成徳大学・同短期大学、神奈川県立弥栄高校芸術科非常勤講師。

公式ウェブサイト <http://kaoriohsuga.com/>

藤原洋記念ホールへのアクセス：

東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅徒歩1分

所在地：〒223-8526 横浜市港区日吉四丁目1番1号

ご注意：藤原洋記念ホールは慶應義塾大学日吉キャンパス内にございます。三田キャンパスではございません。この点どうかご注意ください。